

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：山本 晃大 住所：淡路市尾崎 年齢：34歳</p> <p>新規就農4年目。 淡路市西海岸に面した「花と香りのふるさと」一宮地区で、ストックを中心とした農業を営む。</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：約100a 経営内容：ストック 30a（施設） 水稲 50a ブルーベリー スイカ 玉ねぎ</p> <p>労働力：本人、妻、両親、祖母 出荷先：ストック、農協共撰出荷 その他、個人販売</p> 
<p>就農から現在まで</p> <p>景観園芸学校を修了後、大阪の園芸会社就職。ガーデナーとして5年間花壇デザインや植栽、管理を担当。</p> <p>2017年 離職 同年、帰省し就農 2018年 淡路市農業青年クラブ 入会</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点、嬉しかったこと 家族と一日中一緒にいるのでいろんな話ができる。居心地がいい。仕事というより生活の一部になる。買ってくれる人が「綺麗やわ」と言ってくれることにやりがいを感じる。</p> <p>○苦労した点 資金繰り。人間関係の重要性。 作業の段取りなど。</p>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p> <p>中高生のころからストック栽培の手伝いをするなど、農業を身近に感じながら生活していた。大阪で花を扱う仕事をして楽しいと思っていたし、植物を使う側のことも勉強ができた。長男が生まれ、淡路に施設があったこともあり帰省し、就農した。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>山本農園の周りには若手ストック農家が多数あり心強い存在と感じている。各自その場所でしか作ることのできない人間関係はとても重要。話せる人を作っておくべき。</p>